



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社ゴールドウイン 上場取引所 東
 コード番号 8111 URL <https://www.goldwin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 渡辺 貴生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員CFO (氏名) 白崎 道雄 TEL 03-6777-9378
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始 2026年6月9日
 予定日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	137,516	3.9	25,859	18.0	33,904	10.1	24,094	△1.4
2025年3月期	132,305	4.3	21,905	△8.1	30,806	△5.5	24,444	0.7

（注）包括利益 2026年3月期 27,214百万円（14.0%） 2025年3月期 23,865百万円（△13.2%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	175.76	—	20.1	21.2	18.8
2025年3月期	181.99	—	23.2	21.1	16.6

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 7,770百万円 2025年3月期 8,446百万円

※2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	168,227	130,499	76.9	946.17
2025年3月期	150,877	111,203	73.2	829.99

（参考）自己資本 2026年3月期 129,407百万円 2025年3月期 110,382百万円

※2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	26,257	△13,468	△13,675	50,956
2025年3月期	24,437	208	△14,768	51,985

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	40.00	—	123.00	163.00	7,530	29.9	6.9
2026年3月期	—	87.00	—	29.00	—	7,983	33.0	6.5
2027年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00	—	37.5	—

（注）1. 2026年3月期の中間配当金87円には、創業75周年記念配当10円が含まれています。

2. 2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、2026年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。2026年3月期の期末配当金を仮に当該株式分割前に換算しますと87円、年間配当金合計は174円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	59,900	7.8	7,000	0.6	9,200	1.2	6,800	0.0	49.60
通期	145,400	5.7	26,100	0.9	34,100	0.6	25,600	6.3	186.74

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 3社 （社名）アルパインツアーサービス株式会社、GOLDWIN LONDON LIMITED、
 娜娜蜜卡（上海）商貿有限公司

除外 2社 （社名）北京奥冠英有限公司、高得運（北京）服装商貿有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期	142,344,516株	2025年3月期	142,344,516株
----------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期	5,575,185株	2025年3月期	9,352,182株
----------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2026年3月期	137,088,795株	2025年3月期	134,316,668株
----------	--------------	----------	--------------

※2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。
 これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数
 及び期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	122,722	1.7	22,635	15.2	32,034	6.5	24,543	1.5
2025年3月期	120,671	4.9	19,640	△6.0	30,077	8.4	24,168	17.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	179.03	—
2025年3月期	179.94	—

※2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	132,401	98,190	98,190	74.2	74.2	717.93
2025年3月期	117,835	79,681	79,681	67.6	67.6	599.14

(参考) 自己資本 2026年3月期 98,190百万円 2025年3月期 79,681百万円

※2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 2027年3月期の個別業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	52,800	6.6	6,100	7.2	9,400	0.3	7,500	0.4	54.71
通期	129,300	5.4	23,300	2.9	32,900	2.7	25,500	3.9	186.01

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	14
(重要な後発事象の注記)	14
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）における当社グループを取り巻く外部環境は、秋冬商戦に複数の逆風が重なる局面となりました。国内消費におきましては、消費者の価格選別姿勢が強まり、価格改定の累積に対する反応は一段と敏感になりました。訪日外国人消費につきましては、2025年11月以降、中国大陆からの個人消費に構造的な変化が現れ、当社主要直営店における免税売上の伸長は同月を境に明確に鈍化いたしました。あわせて、12月以降の暖冬傾向が、アウターおよび保温系商品を中心に秋冬商戦の需要動向に影響を及ぼしました。

こうした環境下、当社グループの属するアウトドア関連市場におきましては、ブランド体験と機能性を兼備するプレミアム領域の需要は相対的に堅調に推移した一方、定番品を中心に数量の伸びは鈍化し、市場全体が数量の拡大から品質と体験の深化へと移行する局面にあるものと認識しております。

当社グループは、このような環境認識のもと、基幹ブランドTHE NORTH FACEの収益基盤強化、自社ブランドGoldwinの成長加速、および販売チャネル全体における質的深化を、中期経営計画の基本方針として推進してまいりました。あわせて、販売費及び一般管理費の規律ある管理を通じて、営業利益率を一定水準に保つことに努めてまいりました。

基幹ブランドTHE NORTH FACEにおきましては、パフォーマンスブランドとしての本質への回帰を経営方針の中核に据え、SUMMIT SERIES 25周年を契機としたマウンテンパフォーマンス領域の強化を進めてまいりました。カテゴリ別では、ハードグッズおよびフットウエアは、新規ラインの立ち上がり計画を上回り、直営店の拡充とあわせて順調に推移いたしました。とりわけフットウエアにおきましては、VECTIVシリーズを中心とするトレイルランニング領域の新規ラインが牽引役となりました。一方、アパレルにつきましては、主力定番品の価格改定が重ねられた結果、価格に対する顧客の反応が従来以上に厳しくなり、数量の伸びが鈍化いたしました。

なお、12月の月次売上が暖冬および訪日外国人消費の変化を受けて期初計画を下回って推移して以降、第4四半期におきましては、売上高を短期的に積み上げることを目的とした値引き販売を抑制し、売上総利益率の確保および翌期の在庫健全性を優先する販売姿勢を貫きました。これは、ブランド価値の維持と、翌期以降の収益基盤の持続性を最優先に据えた経営判断であります。

自社ブランドGoldwinにおきましては、国内直営店の編集・演出力を高めるとともに、海外事業、とりわけ長期ビジョン「Goldwin500」に基づく中国事業において明確な進展を得ました。中国子会社は黒字転換を達成し、直近四半期には前年を大きく上回る利益成長を記録しております。これは出店数の拡大のみに頼るのではなく、一店舗当たり収益性の向上を軸とする成長モデルが現地市場で機能し始めたことを示しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は137,516百万円（前期比3.9%増）となり、5期連続で過去最高を更新いたしました。売上総利益は72,946百万円（前期比5.8%増）となり、売上総利益率は、値引き抑制、商品ミックスの改善、および在庫健全性を重視した販売姿勢により53.0%（前期比0.9ポイント上昇）となりました。

販売費及び一般管理費は、成長に向けた基盤投資、海外事業の展開に伴う関連経費、ならびに直営店ネットワークの拡充に要した経費の増加があったものの47,087百万円（前期比0.1%増）となりました。この結果、営業利益は25,859百万円（前期比18.1%増、営業利益率18.8%）となり、営業利益は過去最高を更新いたしました。

経常利益は、33,904百万円（前期比10.1%増）となり、過去最高を更新いたしました。営業外収益における持分法による投資利益は、7,770百万円（前期比8.0%減）となりました。持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporationは、営業利益につきましては前期並みの水準を維持いたしましたが、為替影響により営業外損益が減少し、同社の当期利益および当社の持分法投資利益の減少要因となりました。

特別損失に、投資有価証券売却損1,075百万円を計上いたしました。また、法人税等の計上が前期比38.4%増の7,979百万円となりました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、24,094百万円（前期比1.4%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

(資産)

当連結会計年度末の資産の合計は168,227百万円となり、前連結会計年度末より17,350百万円増加いたしました。主な要因は現金及び預金の増加5,971百万円、建設仮勘定の増加4,345百万円、投資有価証券の増加2,422百万円、売掛金の増加2,248百万円があったためであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債の合計は37,728百万円となり、前連結会計年度末より1,945百万円減少いたしました。主な要因は、リース債務の増加1,196百万円、繰延税金負債の増加1,007百万円があったものの、株式給付引当金の減少4,993百万円があったためであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産の合計は130,499百万円となり、前連結会計年度末より19,295百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加14,547百万円、その他有価証券評価差額金の増加2,090百万円があったためであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は50,956百万円となり、前連結会計年度末より1,028百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは26,257百万円（前連結会計年度比1,820百万円の収入増）となりました。主な要因は、持分法による投資利益7,770百万円、法人税及び住民税の支払5,581百万円および株式給付引当金の減少4,993百万円があったものの、税金等調整前当期純利益32,130百万円および利息・配当金の受取7,528百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは13,468百万円（前連結会計年度は208百万円の収入）となりました。これは主に、定期預金の純増加額7,000百万円および固定資産の取得による支出6,046百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは13,675百万円（前連結会計年度比1,092百万円の支出減）となりました。これは主に、借入金の純増加額426百万円があったものの、配当金の支払9,665百万円および自己株式の取得による支出3,717百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	63.9	67.4	70.9	73.2	76.9
時価ベースの自己資本比率(%)	283.6	478.9	315.1	245.1	180.3
債務償還年数(年)	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	223.8	474.0	501.7	635.6	385.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている短期借入金、長期借入金（1年以内返済分を含む）および社債（1年以内返済分を含む）を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

2027年3月期におきましては、小売・アパレル業界を取り巻く構造変化が継続することを前提に、当社グループは引き続き、短期的な数量の積み上げではなく、売上総利益率の確保およびブランド価値の持続性を優先する経営を一貫して行ってまいります。基幹ブランドTHE NORTH FACEにおける体質強化、自社ブランドGoldwinの収益化加速、ならびにポートフォリオ全体の成長ドライバーの再定義を通じて、中期経営計画の達成確度の向上に努めてまいります。

2027年3月期の連結業績予想につきましては、売上高145,400百万円（前期比5.7%増）、営業利益26,100百万円（前期比0.9%増）、経常利益34,100百万円（前期比0.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益25,600百万円（前期比6.3%増）を見込んでおります。

本業績予想は、現時点における入手可能な情報および合理的な前提に基づくものであり、今後の経済環境の変動、為替相場の変化、消費動向の影響等により、実際の業績が予想数値と乖離する可能性がございます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づく連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,526	58,497
受取手形	53	9
電子記録債権	5,419	6,281
売掛金	14,064	16,313
商品及び製品	17,884	18,629
仕掛品	372	233
原材料及び貯蔵品	962	878
その他	2,157	2,083
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	93,438	102,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,604	2,451
機械装置及び運搬具（純額）	152	151
土地	4,679	4,679
リース資産（純額）	1,899	3,301
建設仮勘定	743	5,088
その他（純額）	745	635
有形固定資産合計	10,824	16,308
無形固定資産		
ソフトウェア	519	495
のれん	—	144
商標権	626	349
ソフトウェア仮勘定	1,605	2,037
その他	56	136
無形固定資産合計	2,808	3,164
投資その他の資産		
投資有価証券	33,014	35,436
退職給付に係る資産	2,947	4,393
差入保証金	3,201	3,202
破産更生債権等	19	18
繰延税金資産	2,410	—
その他	2,301	2,869
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	43,805	45,832
固定資産合計	57,438	65,304
資産合計	150,877	168,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,294	4,627
電子記録債務	15,915	16,074
1年内返済予定の長期借入金	354	6
リース債務	718	893
未払金	3,192	3,387
未払法人税等	1,993	2,212
未払消費税等	519	327
未払費用	2,130	1,874
契約負債	866	1,177
賞与引当金	857	882
役員賞与引当金	—	114
株式給付引当金	4,993	—
その他	1,556	748
流動負債合計	37,391	32,326
固定負債		
長期借入金	—	1,063
リース債務	1,557	2,578
株式報酬引当金	—	69
退職給付に係る負債	186	201
資産除去債務	68	146
繰延税金負債	—	1,007
その他	469	334
固定負債合計	2,282	5,402
負債合計	39,674	37,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,079	7,079
資本剰余金	1,578	1,581
利益剰余金	113,468	128,016
自己株式	△15,838	△14,426
株主資本合計	106,289	122,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,771	3,862
繰延ヘッジ損益	△5	126
為替換算調整勘定	2,418	2,357
退職給付に係る調整累計額	△90	810
その他の包括利益累計額合計	4,093	7,156
非支配株主持分	820	1,091
純資産合計	111,203	130,499
負債純資産合計	150,877	168,227

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	132,305	137,516
売上原価	63,379	64,569
売上総利益	68,925	72,946
販売費及び一般管理費	47,020	47,087
営業利益	21,905	25,859
営業外収益		
受取利息	32	67
受取配当金	105	112
持分法による投資利益	8,446	7,770
その他	489	268
営業外収益合計	9,073	8,219
営業外費用		
支払利息	38	67
保険解約損	19	8
解約違約金	—	17
コミットメントフィー	16	18
その他	98	62
営業外費用合計	172	174
経常利益	30,806	33,904
特別利益		
投資有価証券売却益	344	180
商標権売却益	1,156	—
子会社清算益	327	—
特別利益合計	1,827	180
特別損失		
固定資産処分損	38	149
減損損失	161	14
店舗閉鎖損失	43	145
投資有価証券評価損	1,793	115
投資有価証券売却損	—	1,075
特別退職金	209	418
事業撤退損	147	22
その他	20	12
特別損失合計	2,415	1,954
税金等調整前当期純利益	30,218	32,130
法人税、住民税及び事業税	6,585	5,920
法人税等調整額	△819	2,058
法人税等合計	5,765	7,979
当期純利益	24,452	24,151
非支配株主に帰属する当期純利益	8	57
親会社株主に帰属する当期純利益	24,444	24,094

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	24,452	24,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	2,090
繰延ヘッジ損益	△42	132
為替換算調整勘定	△512	21
退職給付に係る調整額	11	902
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△85
その他の包括利益合計	△586	3,062
包括利益	23,865	27,214
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	23,857	27,157
非支配株主に係る包括利益	8	57

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,079	1,548	97,061	△10,362	95,326
当期変動額					
自己株式の取得				△6,013	△6,013
自己株式の処分		30		537	568
剰余金の配当			△8,036		△8,036
親会社株主に帰属する当期純利益			24,444		24,444
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	30	16,407	△5,475	10,962
当期末残高	7,079	1,578	113,468	△15,838	106,289

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,812	40	2,927	△100	4,680	162	100,170
当期変動額							
自己株式の取得							△6,013
自己株式の処分							568
剰余金の配当							△8,036
親会社株主に帰属する当期純利益							24,444
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△40	△46	△508	9	△586	658	71
当期変動額合計	△40	△46	△508	9	△586	658	11,033
当期末残高	1,771	△5	2,418	△90	4,093	820	111,203

当連結会計年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,079	1,578	113,468	△15,838	106,289
当期変動額					
自己株式の取得				△3,717	△3,717
自己株式の処分		0		5,129	5,129
剰余金の配当			△9,665		△9,665
親会社株主に帰属する当期純利益			24,094		24,094
連結子会社株式の取得による持分の増減		1			1
連結除外による増加額			119		119
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	2	14,547	1,411	15,962
当期末残高	7,079	1,581	128,016	△14,426	122,251

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,771	△5	2,418	△90	4,093	820	111,203
当期変動額							
自己株式の取得							△3,717
自己株式の処分							5,129
剰余金の配当							△9,665
親会社株主に帰属する当期純利益							24,094
連結子会社株式の取得による持分の増減							1
連結除外による増加額							119
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	2,090	132	△61	900	3,062	270	3,333
当期変動額合計	2,090	132	△61	900	3,062	270	19,295
当期末残高	3,862	126	2,357	810	7,156	1,091	130,499

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	30,218	32,130
減価償却費	2,299	2,529
持分法による投資損益 (△は益)	△8,446	△7,770
のれん償却額	—	16
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△229	△1,446
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1	14
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	2,244	△4,993
減損損失	161	14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△52	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△747	24
受取利息及び受取配当金	△137	△179
支払利息	38	67
固定資産処分損益 (△は益)	△1,117	149
売上債権の増減額 (△は増加)	927	△3,064
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△987	△488
仕入債務の増減額 (△は減少)	391	485
未払金の増減額 (△は減少)	505	130
未払消費税等の増減額 (△は減少)	202	△192
前払費用の増減額 (△は増加)	46	102
未収入金の増減額 (△は増加)	△587	663
その他	1,352	6,183
小計	26,082	24,378
利息及び配当金の受取額	8,328	7,528
利息の支払額	△38	△68
法人税等の支払額	△9,935	△5,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,437	26,257
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△506	△14,370
定期預金の払戻による収入	1,547	7,370
固定資産の取得による支出	△2,007	△6,046
固定資産の売却による収入	1,168	0
投資有価証券の取得による支出	△541	△360
投資有価証券の売却による収入	358	263
差入保証金の差入による支出	△348	△410
差入保証金の回収による収入	615	84
新規連結子会社の取得による収入	—	255
その他	△77	△256
投資活動によるキャッシュ・フロー	208	△13,468
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,217
長期借入金返済による支出	△1,018	△790
リース債務の返済による支出	△564	△1,113
非支配株主からの払込みによる収入	719	273
自己株式の売却による収入	201	181
自己株式の取得による支出	△6,013	△3,717
配当金の支払額	△8,036	△9,665
その他	△55	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,768	△13,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	96	58
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,973	△827
現金及び現金同等物の期首残高	42,011	51,985
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△201
現金及び現金同等物の期末残高	51,985	50,956

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

前連結会計年度において、有形固定資産の「その他(純額)」に含めて表示しておりました「建設仮勘定」は、金額的重要度が増したため、当連結会計年度より区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、有形固定資産の「その他(純額)」に表示していた1,489百万円は、「建設仮勘定」743百万円、「その他(純額)」745百万円として組替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)および当連結会計年度(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	アジア	合計
14,439	1,060	213	594	16,308

(注) 1. 前連結会計年度においては、海外に所在する有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の10%未満であったため記載を省略しておりましたが、当連結会計年度において10%以上となったため、地域ごとの有形固定資産を記載しております。

2. 日本以外の各区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

- (1) 米国：アメリカ
- (2) 欧州：イギリス、ドイツ
- (3) アジア：中国、韓国

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）および当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）および当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）および当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	829.99円	946.17円
1株当たり当期純利益	181.99円	175.76円

- (注) 1. 2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	111,203	130,499
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円) (うち非支配株主持分)	820 (820)	1,091 (1,091)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	110,382	129,407
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	132,992	136,769

1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	24,444	24,094
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	24,444	24,094
期中平均株式数 (千株)	134,316	137,088

株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。

1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度8,027,847株、当連結会計年度5,255,721株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度9,352,182株、当連結会計年度5,575,185株であります。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動（2026年6月24日付予定）

① 代表者の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

・ 新任取締役候補

取締役 鈴木 哲志

・ 退任予定取締役

取締役 本間 永一郎

・ 新任監査役候補

監査役 畑 敬子

・ 退任予定監査役

監査役 世一 秀直

- (注) 1. 新任取締役候補 鈴木哲志氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役候補者であり、独立役員として東京証券取引所に届け出る予定であります。
2. 新任監査役候補 畑敬子氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役候補者であり、独立役員として東京証券取引所に届け出る予定であります。